

# お茶会だより 5月号

矢島保育園 H29.5.29(月)

名刺をつけ、白い靴下をはき、ポケットにはお懐紙を入れて... 準備が整うにつれ、その組の賑わいも少しずつ静まていきます。

お茶会の時間が近づいていることを感じ、「心がまえ」を持って取り組んでいる子ども達です。

## 床の間



・掛け軸 ~ 薫風



・お花 ~ センダイハギ、シヤガ、チヨウジツウ

・香合 ~ 堆朱(ついで)、香木 ~ 白檀、お菓子 ~ とらのまんじゅう



お客様2名を迎え(行はれした2回目のお茶会、お茶拜見では後方に座れるお客様を意識しつつも植田先生のお話もしっかりと耳を傾けていました。中でも香合の中に入っている香木を先生が取り出すと、皆興味津々!! どんたは物だろう、どんたは香りだろうと自分の感覚で確かめるべく、一段と背筋が伸びた瞬間でした。

水屋が行うお菓子運びの役は、一回のお茶会で前半4名、後半4名の計8名しかできません。そのため、選ばれた子ども達は特別な役割とあって張り切って取り組んでくれています。全員が順番に経験する様にしていますので、まだ経験していない子どもドキドキながらも楽しんでいたりです。子ども達の意欲を大切にしながらお稽古を重ね、自信につなげていきたいと思っております。

**懐紙**(かいし) ... 小ぶりの和紙で、お茶会ではお菓子を取る時に お皿のふた役目として使用する紙です

☆ 次回は茶花、床の間に生ける季節の花と一人一人生ける予定です。

【今月の床の間】



センダイハギ  
シャガ  
チョウジソウ



この時期の季語にもなっている「薫風」の文字。爽やかな風を感じる掛け軸です。



今月の茶菓子は、  
矢島名物「虎の子まんじゅう」

香合の中のお香も、先月は“練り香”で粘土のようでしたが…

今月の香合に入っているのは、“香木”と言っていい香りのする木片が入ってます。先月とは違いますね。

【お稽古の様子】



今月一緒にお稽古してくれた矢島高校の辻先生と小学校評議員の佐藤まき子さん。



膝の前で2回お茶碗を回して…。  
こっちに回して、いいのかな？

お友だちの動きを見て、お菓子の  
いただき方を確認。



お点前頂戴いたします！

来月のお稽古では、茶花に  
挑戦します。